

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公表番号】特表 2007-513165 (P2007-513165A)

【公表日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報 2007-019

【出願番号】特願 2006-542727 (P2006-542727)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4745 (2006.01)

A 6 1 K 31/4375 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/573 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/04 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 K 31/4375

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/573

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 17/04

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 30 日 (2007.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

グルココルチコイド、非ステロイド系消炎薬、免疫抑制薬、または免疫療法薬を含む消炎成分；および

イミダゾナフチリジンアミン、テトラヒドロイミダゾナフチリジンアミン、オキサゾロキノリンアミン、チアゾロキノリンアミン、オキサゾロピリジンアミン、チアゾロピリジンアミン、オキサゾロナフチリジンアミン、またはチアゾロナフチリジンアミンを含む IR

M成分；

を含む併用薬。

【請求項2】

TLR8選択的アゴニストを含むIRM成分；および

消炎化合物を含む消炎成分；

を含む併用薬。

【請求項3】

IRM化合物で治療可能な状態を治療するための、IRM化合物及び消炎化合物を含む併用薬であって、ここで、

(a) 前記IRM化合物が前記状態を治療するのに有効であり；かつ

(b) 前記消炎化合物が前記IRM化合物投与の副作用を制限するのに有効である、  
前記併用薬。

【請求項4】

TLR8選択的アゴニストであるIRM化合物で治療可能な状態を治療するための、TLR8選択的アゴニストであるIRM化合物及び消炎化合物を含む併用薬であって、ここで、

(a) 前記TLR8選択的アゴニストであるIRM化合物が前記状態を治療するのに有効であり；かつ

(b) 前記消炎化合物が、前記TLR8選択的アゴニストであるIRM化合物投与の副作用を制限するのに有効である、

前記併用薬。

【請求項5】

消炎化合物で治療可能な状態を治療するための、IRM化合物を含む医薬組成物であって、ここで、前記医薬組成物が前記消炎化合物により引き起こされる免疫抑制を制限するように設計されている、前記医薬組成物。

【請求項6】

消炎化合物で治療可能な状態を治療するための、IRM化合物及び消炎化合物を含む併用薬であって、ここで、

前記消炎化合物が前記状態を治療するのに有効であり、かつ

前記IRM化合物が免疫抑制を制限するのに有効である、

前記併用薬。